

島原湾 眉山崩壊とそれに伴う津波

島原湾沿岸(長崎県・熊本県)



眉山崩壊(1792年)

被害状況 死者約1万5千人

寛政4年(1792)、地震により眉山(まゆやま)が大崩壊して有明海に崩れ落ち大津波が発生した。島原での死者は1万人ともいわれ、津波による溺死体が多く打ち上げられた(島原大変)。津波は対岸の肥後天草も襲った(肥後迷惑)。

※ 自然災害伝承碑の伝承内容から抜粋



次のスライドに解説があるよ

①

流死菩提供養塔



②

流死菩提供養塔



③

流死人供養塔



④

津波供養碑



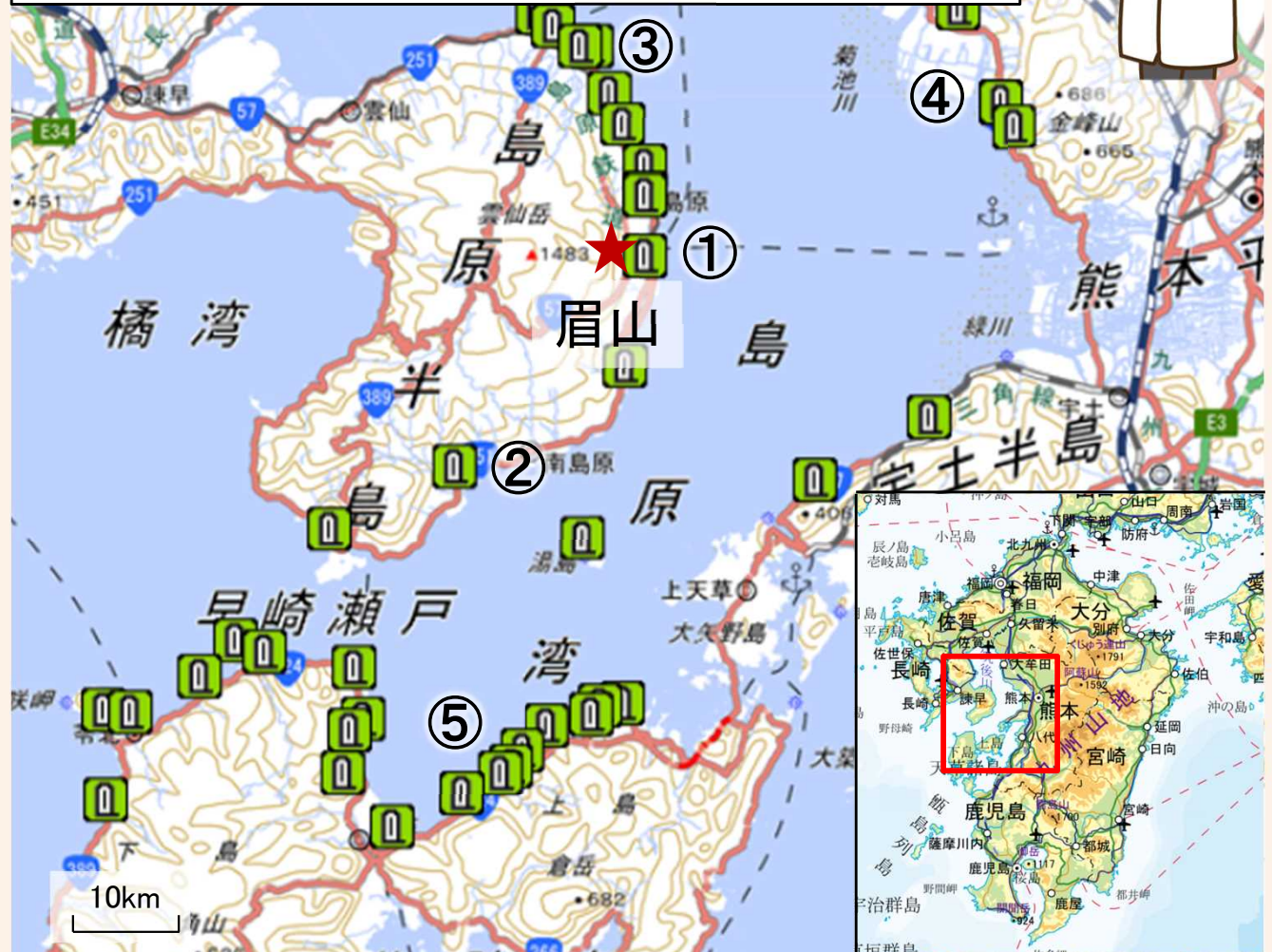
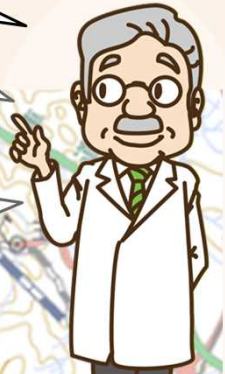
⑤

溺死靈魂塔(寄り人様)

どんな範囲に自然災害伝承碑が分布しているかな。

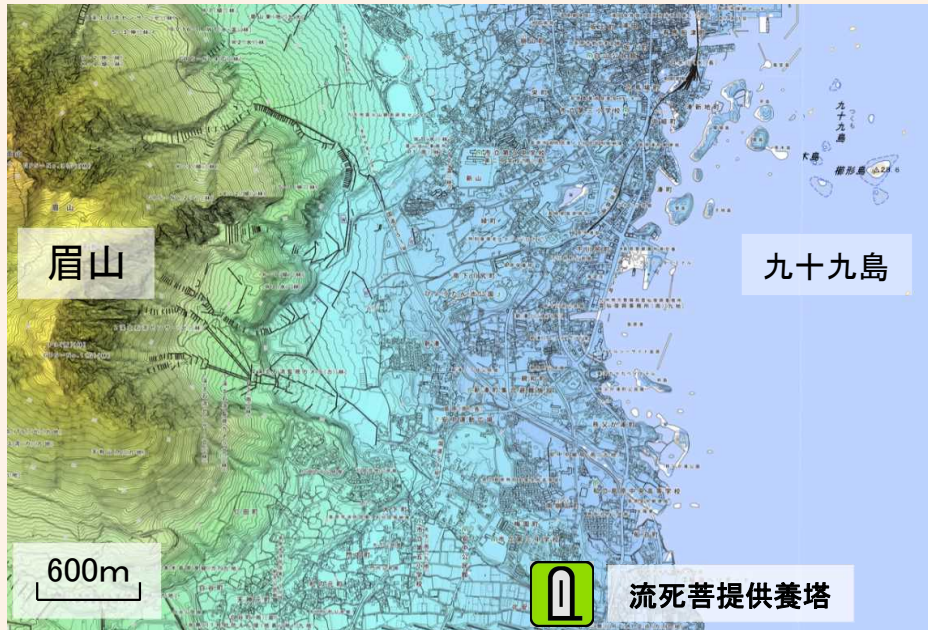
島原湾で津波はどのように起こったのかな。地理院地図の自然災害伝承碑の伝承内容で確認してみよう。

自然災害伝承碑の伝承内容には、眉山が崩壊し海に崩れ落ちたことで津波が起こったこと、その津波によって生じた被害が書かれているよ。



島原大変肥後迷惑

島原湾沿岸(長崎県・熊本県)



火山基本図データ(陰影起伏図)

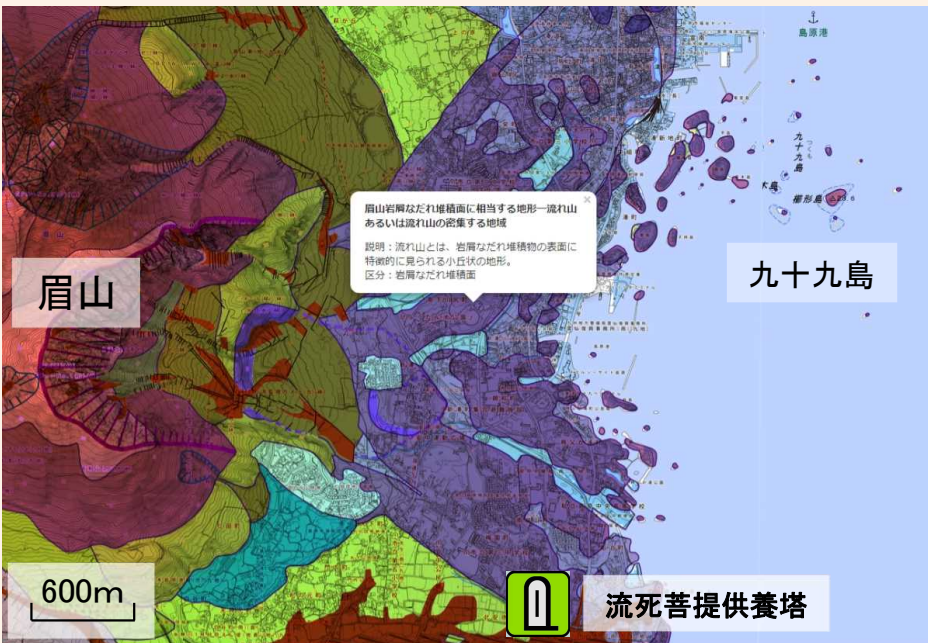


地理院地図で火山基本図データを見てみよう。眉山の東側が大きくえぐったような地形になっているね。

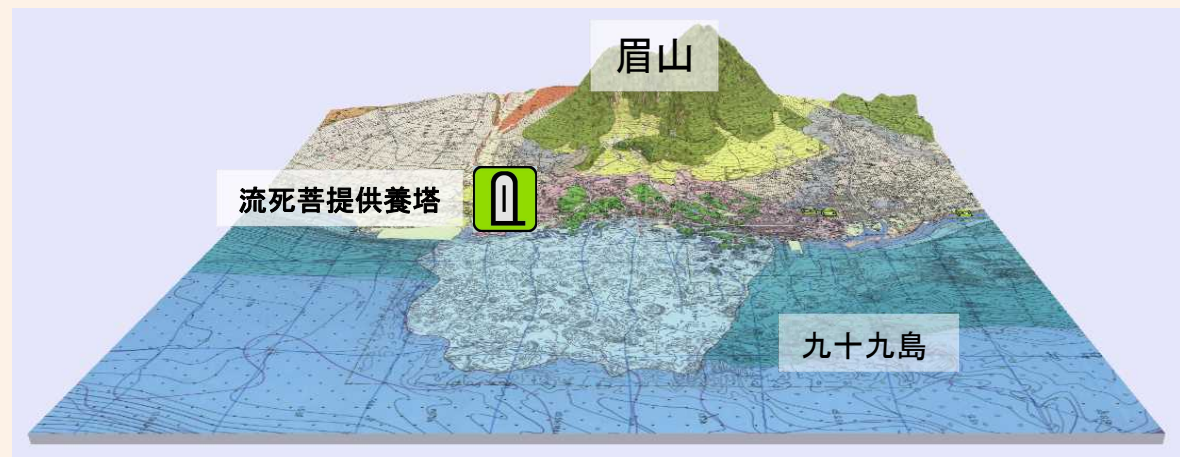
火山地形分類データを見ると、眉山の東側に崩壊の堆積物が広がっていることがわかるよ。



沿岸海域土地条件図では、眉山崩壊の堆積物が海の中まで広がっていることが分かるよ。九十九島は、眉山崩壊による堆積物の一部なんだ。地理院地図で3D表示にすると立体的に見えるよ。



火山基本図データ(陰影起伏図)+火山地形分類データ



沿岸海域土地条件図の3D表示

島原大変肥後迷惑

島原での眉山崩壊に伴う津波で、対岸の肥後国にも大きな被害が発生したことから、眉山崩壊による一連の災害は「島原大変肥後迷惑」と呼ばれている。